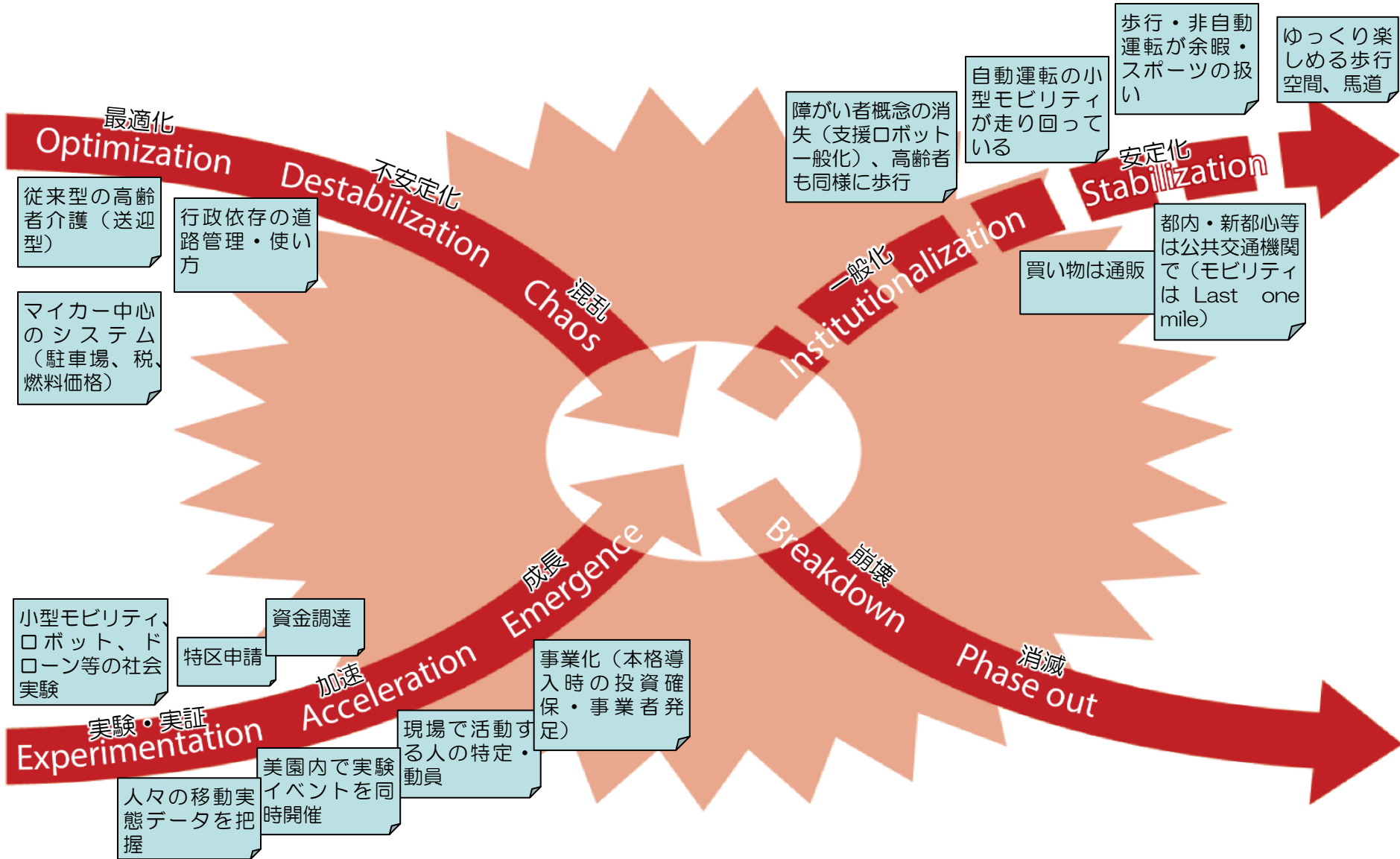


高齢化が進んだ将来の美園に向けたモビリティ*・トランジション

(2018年3月27日まちづくり講演会 ミニ・ワークショップの成果)



*人々の移動・交通のこと。「小型モビリティ」というときは、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両のこと。

高齢化が進んだ将来の美園に向けた モビリティ・トランジションの戦略

(2018/3/27 まちづくり講演会 ミニ・ワークショップの成果)

問題意識

- 急激な高齢化が予期される美園において、2050年の美園のモビリティ（人々の移動）がどのようになっていけば、「持続可能（サステイナブル）な美園」でしょうか？
- 現状のどのような社会システムが持続可能ではないでしょうか？
- システムを変えるためにいま、何ができるでしょうか？

参加者のみなさんのご意見

2050年の美園のすがた

- 高齢者もパワードスーツ等の支援で、若者と同等の行動が可能
- 美園内で自動運転の小型モビリティが走り回る
 - 東京や新都心への移動は浦和美園駅から公共交通機関を利用
- 非自動の移動（運転、自転車、乗馬、歩行…）は貴重で余暇として認識
- 買い物は通販が前提

変わらなければならない現在の社会システム

- 朝夕の送迎で自主性のない高齢者介護
- マイカー前提のシステム（駐車場、低い燃料価格など）
- 行政依存の道路管理

システムを変えるためにいまからできる行動

- 小型モビリティやドローン等の社会実験活性化
 - 美園内の社会実験イベントは同時多発的に実施して住民等へアピール
- 美園内における移動データの把握
- 特区申請、資金調達
- 実際に活動する人の特定